

令和07年度 大妻女子大学 入学試験問題

入試方式	大学院入試修士課程（社会人特別選抜）
専修・専攻	健康・栄養科学専修
試験科目	小論文
出題の意図	<ul style="list-style-type: none">・健康・栄養科学専修における専門的研究を遂行するために必要となる読解力、論理的思考力、表現力について確認する。・修士論文作成のために関連する沿革や現状を理解しているか確認する。

令和5年度食育推進施策に関し、以下の文書を読み問題に答えなさい。

令和5(2023)年度は、第4次基本計画(計画期間:令和3(2021)年度からおおむね5年間)に基づく取組の3年目です。第4次基本計画では、16の目標が掲げられており、数値目標として定められた24の目標値のうち、令和5(2023)年度現在で目標を達成しているのは、「⑥栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数」「②郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている国民の割合」の2項目でした(別表)。また、そのほか、第4次基本計画作成時の値に比べて改善を示したのは、以下に示す項目でした。「⑨主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合」「⑩主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合」「⑮ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合」「⑳食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合」「㉓食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合」「㉔推進計画を作成・実施している市町村の割合」。

問題 上記の目標値を達成できなかった項目および計画作成時の値に比べ改善しなかった項目の中から2つ選び、①達成できなかった理由および②達成するための取り組みについて具体的な対策を各々について記述しなさい。

出典:令和5年度食育白書

https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/attach/pdf/r5_index-4.pdf

